



パシフィコ横浜



関電工

NOKIA

プレスリリース

2026年4月2日

株式会社 横浜国際平和会議場

株式会社関電工

ノキアソリューションズ&ネットワークス合同会社

報道関係 各位

日本国内初 MICE 施設における次世代型統合ネットワーク「Optical LAN」の導入決定

～有料光回線は速さ 10 倍、フリーWi-Fi は同時アクセス台数 2 倍～

パシフィコ横浜（正式名称：株式会社横浜国際平和会議場、所在地：横浜市西区、代表取締役社長：林 琢己）は、株式会社関電工（本社：東京都港区、取締役社長：田母神 博文）からの提案を採用し、国内の MICE 施設^{※1}としては初めて^{※2}、ノキアソリューションズ&ネットワークス合同会社（本社：東京都港区、代表執行役員社長：大島 貴之）の次世代型統合ネットワーク「Optical LAN（以下 OLAN）」の導入を決定しました。これにより、施設をご利用いただく主催者・出展者・来場者の皆様に、より高速大容量の通信環境を提供することが可能となります。

コロナ禍以降、オンライン配信も併用したハイブリッド開催の定着や、イベント運営の DX 化・来場者による通信容量の増大などにより、MICE 施設における ICT インフラの高度化が求められています。こうした背景を踏まえ、パシフィコ横浜は、ICT インフラ構築において豊富な実績と高い技術力を持つ関電工からの OLAN 導入の提案を受け、各施設に最大 10Gbps の高性能なネットワーク環境を整備することを決定しました（ノース^{※3}を除く）。これにより、有料光回線は速さ 10 倍、フリーWi-Fi は同時アクセス台数 2 倍となり、通信環境が安定します。

パシフィコ横浜は、高速大容量の通信環境の提供により、施設をご利用いただく皆様が快適に安心してご利用いただけるよう、今後もサービスの向上に取り組んでまいります。

※1 Meeting（企業等の会議）、Incentive Travel（企業等の行う報奨・研修旅行）、Convention（国際機関・団体、学会等が行う会議）、Exhibition/Event（展示会・見本市、イベント）などのビジネスイベントを行う施設

※2 ノキアソリューションズ&ネットワークス合同会社調べ（2026年4月2日時点）

※3 2020年にオープンした、約6,300㎡の多目的ホールと大中小42室の会議室を備えた施設

<導入効果>

対象	提供サービス	現在	導入後
主催者・出展者	有料光回線	最大 1Gbps	最大 10Gbps
来場者	フリーWi-Fi	最大 2 万端末の同時アクセス (ノースを除く)	最大 4 万 1 千端末の同時 アクセス (ノースを除く)

<導入スケジュール（予定）>

2026年6月 会議センター

2026年9月 国立大ホール

2027年9月 展示ホール・アネックスホール

※導入が完了した施設から順次提供開始

<パシフィコ横浜に関するお問い合わせ先>

パシフィコ横浜 営業推進部 ミーティング&コンベンション課 木下 TEL : 045-221-2161

お問い合わせフォーム : <https://www.pacifico.co.jp/press>

<OLANに関するお問い合わせ先>

株式会社関電工 IR・広報室 TEL : 050-3186-2920

E-mail : kdk-koho@kandenko.co.jp

ノキアソリューションズ&ネットワークス合同会社

グローバルマーケティング&コミュニケーションズ 小美濃 TEL : 03-6758-8888

E-MAIL : takayuki.omino@nokia.com

ご参考

■ OLAN とは

OLAN は、Passive Optical Network (PON) という技術を使って構築されるローカルエリアネットワーク (LAN) であり、以下の特徴からパシフィコ横浜のような広い敷地面積を有する施設との親和性が高く、導入を決定しました。

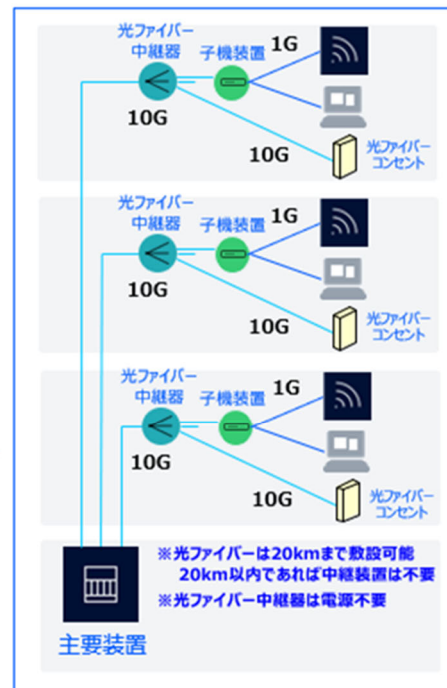
<一般的な従来の LAN と OLAN の比較>

— : 光ファイバー
— : LANケーブル

従来の構成 (従来のLAN)



更新後の構成 (OLAN)



中継電源不要
中継装置不要
設置面積削減
通信速度・帯域向上
※1G = 1G通信可能エリア
※10G = 10G通信可能エリア

・光ファイバーを使用

光信号でデータのやりとりを行い、**高速かつ大容量(10G 通信)の通信**が可能

※将来的に最大 50G 通信まで拡張可能

・光ファイバー中継器を使用

途中に電源を必要としない「光中継器 (光を分配する機器)」を使って、1 本の光ファイバーを複数の端末に分配することが可能

・省エネ&省スペース

中継装置がなくなり消費電力を約 **46%**削減、配線もスッキリ収容可能

・長距離伝送が得意

光ファイバーを使用することから、**数キロ以上の距離でも安定した通信**が可能

・長寿命かつ高い信頼性

光ファイバーは LAN ケーブルに比べ**寿命が長く劣化しにくい**ことに加え、20km まで敷設可能なので中継装置がいらず**故障するリスクのある機械を設置する必要がない**ため、高い信頼性を維持することが可能